

在タジキスタン共和国日本国大使館
臨時代理大使 中山 喜弘様

特定非営利活動法人 難民を助ける会
理事長 長(志邨) 有紀枝

日本NGO連携無償資金協力 事業完了報告書

平成 20 年 3 月 10 日付日本NGO連携無償資金協力贈与契約に基づく「ラシュト地域住民の医療環境改善事業」が平成 21 年 2 月 9 日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間：平成 20 年 3 月 10 日～平成 21 年 2 月 9 日

2. 事業の実施成果（要約）：

(1) 事業概要

タジキスタン共和国の中でも、とりわけ内戦による被害が深刻なラシュト地域において、地域住民の医療環境改善を目指した。具体的には、地域の中心的医療施設であるラシュト郡中央病院への基本的医療機材の供与、保健医療キャンペーンを実施した。

(2) 事業の成果と達成度

①基本医療機材の供与

下記の基本医療機材 14 点を供与し、住民がラシュト地域内で基本的医療サービスを受けることのできる環境を整備した。

診断機材 3 点	胃内視鏡装置、超音波エコー、ポータブル撮影用 X 線装置
手術用機材 8 点	麻酔装置、人工呼吸器、外科手術用ツールキット、電気吸引機、泌尿器ツールキット、外傷ツールキット、手術台、電気メス
理学療法機材 3 点	UHF 装置、電気泳動装置、電流マッサージ装置

②保健医療キャンペーン

イ.ワークショップの開催

地域住民の保健医療に対する理解向上、地域の医療施設に対する認知向上を目指し、ラシュト郡の医療関係者と協働し、郡内全 14 地区にて住民向けワークショップを行った。

下記内容のワークショップを実施した。

- ・ タジキスタン医療制度の解説
- ・ 病気の予防法に関する解説（幼児の下痢予防、妊娠時の健康維持、バランスの取れた食事療法）
- ・ 供与医療機材に関する解説

ロ. 保健医療パンフレットの作成と配布

上記ワークショップの内容を分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、7,700部印刷した。同パンフレットは、ワークショップ参加者1,996名に配布すると共に、診察のため地域の医療施設に訪れる住民にも配布し、知識の普及に寄与した。

(3) 自己評価

①妥当性

タジキスタン政府は保健分野長期戦略において、国内医療サービスの充実を掲げているが、医療サービスへの公的資金支出は十分ではない。とりわけラシュト地域への公的資金支出は少なく、ラシュト郡中央病院でも故障、老朽化した医療機材の修理、買い替えができず患者への医療サービス提供に支障をきたしていた。またこれまでに同病院へ寄せられた支援の多くは建物の建設、修理、医薬品配布等の一過性の支援であり、医療機材を整備し、かつ地域住民へ働きかける包括的な支援は、本事業が唯一である。また保健医療ワークショップでは、ラシュト地域で多く見られる症例を考慮し、①幼児の下痢予防、②妊娠時の健康維持、③バランスの取れた食事療法など、家庭でできる対応に関する知識を広めることができた。これらの点から、本事業は妥当性が高い事業であったと言える。

②効率性

本事業の医療機材供与先であるラシュト郡中央病院は、ラシュト郡のみならず、ラシュト地域5郡¹の基幹病院となっている。同病院の機能向上は、5郡全地域住民の医療環境改善につながった。さらに供与機材選定にあたり、病院側との協議を重ね、地域で基本的医療サービスを提供するために必要不可欠な医療機材を供与することができた。保健医療キャンペーンに際しては、同病院が既に有していた専門知識を利用することにより、効率的に運営できた。

③有効性

本事業の事業目標であるラシュト地域住民の医療環境の改善を、次の通り達成した。基本的医療サービス提供に必要な機材を整備することによりラシュト郡中央病院の機能を高め、住民が地域内で質の高い医療サービスを受けることができるようにした。保健医療キャンペーンでは、住民が家庭で取り組める病気予防法の紹介に加えて、医療制度、サービス内容等を写真を多用しわかりやすく紹介し、同病院を積極的に利用するよう促した。

④インパクト

保健医療キャンペーンの内容を記載したパンフレットを作成、配布することによって、ワークショップ参加者のみではなく、参加者世帯への広がり期待できる。さらにワークショップに参加できなかった住民にも配布することにより、知識の普及に努めた。ラシュト地域の基幹病院である同病院の機能向上は、他郡に住む住民の医療環境改善にも寄与した。

⑤自立発展性

タジキスタン国内で修理可能、かつ消耗品購入や機材故障時には病院独自の予算で対応可能な機材を選定、整備した。また保健医療キャンペーンの内容を記載したパンフレットを広く配布したため、ワークショップ終了後も継続した知識の普及が期待される。

(4) 今後の方針

今後も、供与機材を利用した患者数の統計を定期的に把握するとともに、機材の活用状況の確認に努める。ラシュト郡中央病院は地方の核となる医療機関であり、今後も同地方の障害者を取り巻く状況につき、定期的に情報収集をしていきたい。

¹ ラシュト5郡：ラシュト郡、タビルダラ郡、タジカバード郡、ジルカダル郡、ヌラバード郡

3. 日本NGO連携無償資金精算額：151,440 米ドル
(契約額(供与限度額)のうち、気管支鏡供与の取り止めに係る 2,400 ドルは返還予定)
4. 会計報告(事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書写し)：別紙のとおり
5. 外部監査報告書提出予定日：2009年5月予定

【添付書類】

- ①会計報告一式
事業資金収支表
資金使用明細書
経費支払証明(証拠書台紙)
銀行口座残高証明
- ②事業の成果(詳細報告書)
- ③事業内容説明写真
- ④事業地の地図
- ⑤資料
- ⑥業務日報